



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 イヌイ倉庫株式会社
コード番号 9308 URL <http://www.inui.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 乾 康之

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 小林 雅史

TEL 03-5548-8613

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,271	3.9	237	60.2	222	86.1	101	—
23年3月期第1四半期	2,187	—	148	—	119	—	△286	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 147百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △333百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	6.35	—
23年3月期第1四半期	△17.96	—

(注) 22年3月期は決算期の変更により、平成21年12月1日から平成22年3月31日までの4ヶ月間となっております。このため、23年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	38,639	15,772	40.8	988.37
23年3月期	39,774	15,769	39.6	988.15

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 15,772百万円 23年3月期 15,769百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,217	△2.4	362	5.3	281	36.6	92	—	5.76
通期	8,329	△3.6	753	7.7	564	12.0	237	—	14.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期1Q	18,200,000 株	23年3月期	18,200,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	2,241,512 株	23年3月期	2,241,512 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期1Q	15,958,488 株	23年3月期1Q	15,958,670 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想（平成24年3月期の連結業績予想）については、平成23年6月20日公表の数値から修正しております。

連結業績予想に関する事項は、本日（平成23年8月9日）公表の「平成24年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、東日本大震災の影響もあり景気持ち直しの動きは弱く、物流業界では、保管残高が低調に推移いたしました。また、不動産業界では、賃貸マンション市況に下げ止まり感が見られるものの、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況下、当第1四半期連結累計期間における当社グループの業績は、営業収益は前年同期比84百万円増収(+3.9%)の2,271百万円、営業利益は前年同期比89百万円増益(+60.2%)の237百万円、経常利益は前年同期比103百万円増益(+86.1%)の222百万円となりました。また、四半期純利益は前年同期比388百万円増益の101百万円となりました。

当社グループのセグメント別の業績は、次のとおりであります。

①物流事業

物流事業におきましては、神戸みなと倉庫の一部稼働や文書保管箱数の増加が寄与したものの、各社の物流コスト抑制及び事業者間の価格競争等といった減収要因により、営業収益は前年同期比12百万円減収(△1.6%)の794百万円となりました。セグメント損益は、業務効率化等により前年同期比81百万円増益となったものの、神戸みなと倉庫の減価償却費等の影響により46百万円の損失となりました。

②不動産事業

不動産事業におきましては、賃貸市況が依然として低迷を続けるなか、本年1月に竣工したアパートメンツタワー勝どきの収益寄与もあり、その結果、営業収益は前年同期比28百万円増収(+2.7%)の1,083百万円となりました。セグメント利益は、持分法適用関連会社への投資損失等の影響により、前年同期比37百万円減益(△7.5%)の463百万円となりました。

③その他

営業収益は前年同期比69百万円増収(+21.3%)の393百万円、セグメント利益は前年同期比14百万円増益(+101.8%)の27百万円となりました。

※なお、平成23年7月1日付にて連結子会社である株式会社イヌイシステムズの全株式を譲渡したことに伴い、当第1四半期連結累計期間よりシステム開発関連事業をその他へ含めて表示しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少等により前連結会計年度末比1,134百万円減の38,639百万円となりました。負債は、借入金及び未払金等の減少により前連結会計年度末比1,138百万円減の22,866百万円となりました。純資産は、利益剰余金の減少、その他有価証券評価差額金の増加により、前連結会計年度末比3百万円増の15,772百万円となりました。その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の39.6%から40.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して930百万円減少し、1,852百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における営業活動の結果として得られた資金は、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、持分法による投資損失等により389百万円となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における投資活動の結果として使用した資金は、既存施設への修繕投資による支出等により596百万円となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第1四半期連結累計期間における財務活動の結果として使用した資金は、借入金の減少等により723百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向等を踏まえ、平成23年6月20日に公表した平成24年3月期の業績予想を変更しております。詳細は、本日付開示「平成24年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,782	1,852
受取手形及び営業未収金	513	525
その他	280	172
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	3,576	2,549
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,050	13,038
土地	2,657	2,657
信託建物及び信託構築物（純額）	5,901	5,822
信託土地	3,935	3,935
その他（純額）	309	294
有形固定資産合計	25,853	25,749
無形固定資産	176	162
投資その他の資産		
投資有価証券	9,390	9,380
その他	777	798
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	10,167	10,178
固定資産合計	36,198	36,090
資産合計	39,774	38,639

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	340	330
短期借入金	3,780	3,680
1年内返済予定の長期借入金	1,971	1,972
未払法人税等	168	25
賞与引当金	119	29
災害損失引当金	23	8
その他	1,074	804
流動負債合計	7,476	6,851
固定負債		
長期借入金	12,852	12,357
退職給付引当金	121	117
受入保証金	2,244	2,233
長期前受収益	648	648
その他	661	658
固定負債合計	16,528	16,015
負債合計	24,005	22,866
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,767	2,767
資本剰余金	2,699	2,699
利益剰余金	11,124	11,082
自己株式	△1,218	△1,218
株主資本合計	15,373	15,331
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	396	441
その他の包括利益累計額合計	396	441
純資産合計	15,769	15,772
負債純資産合計	39,774	38,639

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
営業収益	2,187	2,271
営業原価	1,826	1,835
営業総利益	360	436
販売費及び一般管理費	211	199
営業利益	148	237
営業外収益		
受取配当金	45	46
その他	8	12
営業外収益合計	54	59
営業外費用		
支払利息	63	61
その他	19	12
営業外費用合計	83	74
経常利益	119	222
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1	—
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
投資有価証券評価損	207	41
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	202	—
その他	59	1
特別損失合計	469	42
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△347	180
法人税、住民税及び事業税	6	25
法人税等調整額	△68	53
法人税等合計	△61	78
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△286	101

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△286	101
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46	39
持分法適用会社に対する持分相当額	—	6
その他の包括利益合計	△46	45
四半期包括利益	△333	147
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△333	147
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△347	180
減価償却費	317	316
減損損失	33	—
固定資産撤去費用引当金の増減額(△は減少)	25	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	15	△3
賞与引当金の増減額(△は減少)	△96	△89
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2	0
受取利息及び受取配当金	△45	△46
支払利息	63	61
持分法による投資損益(△は益)	19	53
投資有価証券評価損益(△は益)	207	41
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	202	—
売上債権の増減額(△は増加)	32	△12
仕入債務の増減額(△は減少)	7	△9
前払費用の増減額(△は増加)	39	31
未払費用の増減額(△は減少)	22	4
前受収益の増減額(△は減少)	0	46
未払又は未収消費税等の増減額	△5	40
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	13	△10
長期前受収益の増減額(△は減少)	△52	—
その他	45	△46
小計	495	557
利息及び配当金の受取額	45	46
利息の支払額	△65	△61
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△53	△154
営業活動によるキャッシュ・フロー	422	389
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△56	△597
投資有価証券の売却及び償還による収入	17	—
会員権の取得による支出	△3	—
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41	△596
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	500	—
短期借入金の返済による支出	△12	△100
長期借入れによる収入	500	—
長期借入金の返済による支出	△473	△494
配当金の支払額	△85	△128
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	427	△723
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	808	△930
現金及び現金同等物の期首残高	1,624	2,782
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,432	1,852

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	物流 事業	不動産 事業	計				
営業収益							
外部顧客に対する 営業収益	807	1,054	1,862	324	2,187	—	2,187
セグメント間の営業収益 又は振替高	0	29	29	5	35	△35	—
計	807	1,084	1,892	330	2,222	△35	2,187
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△127	500	372	13	386	△238	148

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ボウリング場の運営事業及びシステム開発関連事業であります。

2. セグメント利益の調整額△238百万円には、セグメント間取引消去△4百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用△233百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、固定資産について減損損失を計上いたしました。この結果、第1四半期会計期間での物流事業の資産の減少は33百万円となっております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	物流 事業	不動産 事業	計				
営業収益							
外部顧客に対する 営業収益	794	1,083	1,878	393	2,271	—	2,271
セグメント間の営業収益 又は振替高	0	30	30	4	35	△35	—
計	794	1,113	1,908	398	2,307	△35	2,271
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△46	463	416	27	444	△206	237

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ボウリング場の運営事業及びシステム開発関連事業であります。

2. セグメント利益の調整額△206百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用△206百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

システム開発関連事業を営む(株)イヌイシステムズの全株式を平成23年7月1日付で譲渡したことにより、同社は当第2四半期連結会計期間より連結対象外になります。このためその重要性を鑑みて、当第1四半期連結累計期間よりシステム開発関連事業セグメントは報告セグメント外とし、「その他」に含めて表示しております。前第1四半期連結累計期間についても変更後の区分方法により作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

当社は、連結子会社である(株)イヌイシステムズの全株式を平成23年7月1日付で日本オフィス・システム(株)に譲渡いたしました。これにより、(株)イヌイシステムズは当第2四半期連結会計期間より連結対象外になります。

(1) 株式譲渡の目的

当社は、経営資源の効果的な投下と経営基盤再構築の推進を掲げており、物流事業及び不動産事業を主軸としたグループ経営効果の最大化に取り組んでおります。

このような背景の下、当社は、(株)イヌイシステムズが行う事業の更なる成長・発展が期待できる企業に譲渡することが最適であると判断し、当社が所有する(株)イヌイシステムズの全株式を日本オフィス・システム(株)へ譲渡いたしました。

(2) 当該子会社の事業内容及び当社との取引内容

当該子会社の名称	(株)イヌイシステムズ
事業内容	ソフト開発・システム構築
取引内容	業務委託契約に基づき当社のシステム業務等を行っております。 当社の所有施設を賃借しております。

(3) 株式譲渡の内容

譲渡日	平成23年7月1日
譲渡先	日本オフィス・システム(株)
譲渡株式数	2,220,000株
譲渡価額	130百万円
譲渡損	15百万円
譲渡後の所有株式数（所有割合）	0株（0％）